

施設名	若松港石垣岸壁								
所在地	福岡県 北九州市								
管理者等	不明								
施設種類・分野	海岸								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>若松地区の石積み岸壁は、近代港湾として最初に整備されたもので、同地区では最古のものである。かつて、江戸時代からの五平田船による遠賀川水運は、明治20年代が最盛期だった。若松港は、石炭がエネルギーの中心になるにつれて、港湾の整備、鉄道の開通などにより、筑豊の石炭を扱う日本一の石炭集積港となったが、その後の石油へのエネルギー革命により、当時の隆盛はなくなった。</p> <p>現在は岸壁周辺は市民の憩いの場として整備されている。</p>								
	文献1より引用								
築造時期	明治中期				時期詳細	明治25年			
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	—								
歴史的な遺産等の指定の有無等	—	選奨土木遺産 (土木学会)	—	文化財 (文化庁)	—	近代化産業遺産 (経産省)	—	世界遺産 (ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	文献1:福岡県の土木遺産リスト(http://dobokuisan.qscpua2.com/search-list/srh_list_fukuoka/)(社)九州地域づくり協会作成)								
管理者等のHP (URL等)	—								

